

戦争と不安の時代に 韓国文学を読む

2024 年ノーベル賞作家
韓国ハン・ガンの翻訳者

斎藤真理子氏講演会

日時 2026 年 10 月 17 日(土) 13:30 開場・14:00 開演

入場料 2,000 円(当日会場にてお支払いください) 定員:40 名

会場 文学と美術のライブラリー「游文舎」ギャラリー(柏崎市穂波町 1-25)

共催 游文舎・北方文学会・玄文社



撮影：増永彩子

植民地時代の三・一独立運動、解放後の済州島四・三事件をはじめとする良民虐殺、朝鮮戦争、そして光州事件など韓国現代史は大量死の記憶でいっぱいです。(『言葉の森のかくれんぼ』より)

斎藤真理子氏 プロフィール

1960 年新潟市生。翻訳者、ライター。1980 年から朝鮮語を学び始め、1991 年からソウル延世大学語学堂に留学する。主な訳書にパク・ミンギョ『カステラ』(ヒョン・ジェフンとの共訳/クレイン)、チョ・セヒ『こびとが打ち上げた小さなボール』(河出書房新社)、ハン・ガン『ギリシャ語の時間』(晶文社)、チョン・ミョングァン『鯨』(晶文社)、チョン・スチャン『羞恥』(みすず書房)、チョン・セラシ『フィフティ・ピープル』(亜紀書房)、チョ・チムジュ『82 年生まれ、キム・ジョン』(筑摩書房)、ファン・ジョンウン『ディディの傘』(亜紀書房)、パク・ソルメ『もう死んでいる 12 人の女たちと』(白水社)、ハン・ガン『別れを告げない』(白水社)、ハン・ガン『光と糸』(河出書房新社)、『波の子どもたち』(チョン・スユン、岩波書店) など。著書に『韓国文学の中心にあるもの』(イースト・プレス)。最新刊にチョン・スユンとの共著『言葉の森のかくれんぼ』(岩波書店)。2015 年にパク・ミンギョ『カステラ』で第 1 回日本翻訳大賞受賞。2020 年に韓国文学翻訳院の第 18 回韓国文学翻訳賞文化体育観光部長官賞を受賞。2025 年にハン・ガン『別れを告げない』で第 76 回読売文学賞(研究・翻訳部門)を受賞した。

・斎藤氏の著書販売あり。終了後サイン会

・参加お申し込みは下記へ

電話 0257-32-1238

Fax 0257-21-9261

Mail genbun@tulip.ocn.ne.jp

